

皆さんの負託に応えます！

町議会議員選挙が4月26日に行われ、11人の新しい議員が誕生しました。
今月は、議員の皆さんに今後4年間についての抱負と決意を語っていただきました。
(掲載は年齢の若い順ですが、紙面の都合により一部順番が変更となっています。年齢の次は党派で、■は無所属、
■は日本共産党です。その横の数字は当選回数です。)

新議員構成

5月8日、町議会議員改選後初の臨時町議会が開催され、議長、副議長の選挙、監査委員の選任、ならびに各委員会の構成が行われ、委員長、副委員長が決定しました。

議長	渡部 孝樹
副議長	木戸 嘉則
監査委員	吉岡 茂樹
総務文教常任委員会	
○委員長	木本 清登
○副委員長	森田 正樹
産業建設常任委員会	
○委員長	大捕 孝吉
○副委員長	高田 芳和
議会運営委員会	
○委員長	三國 和江
○副委員長	木本 清登
議会広報特別委員会	
○委員長	井上 次男
○副委員長	伊藤富志夫
胆振東部消防組合	
議会議員	高田 芳和
	井上 次男
安平・厚真行政事務組合	
議会議員	伊藤富志夫
	吉岡 茂樹
胆振東部日高西部衛生組合	
議会議員	森田 正樹
	大捕 孝吉

新議員の抱負と決意

愛郷無限の精神で



共栄・渡部 孝樹
農業 52歳 図4

この度、厚真町議会議員選挙にあり、多くの町民の皆様の温かいご支持、ご支援を賜り、心から感謝申し上げますとともに、再度、町政参画の機会の場をいただき、厚くお礼申し上げます。改めて身の引き締まる思いでもあります。

私の政治活動は、愛郷無限の精神で町民福祉の向上と地域の安寧を願い、安心安全で明るく豊かな住み良い町づくりを、そして町民の皆さんの多様な声を町政に反映させることが、私の役割であり使命であると深く認識しております。

人口減少、少子高齢化時代へとさまざまな諸課題、諸問題が山積みではありますが、地方創生時代にふさわしい自主自立の町民参画、協働の力で、次世代の子どもたちに、誇れる逞しい元気あふれる町政実現を目指し、町民の町民による町民のための町政を、町民の皆さんと共に未来への扉を拓き、魅力と活力ある夢と希望が持てる明るく豊かな地域社会実現のための環境づくりに向かって、町民の皆さんの声に応えられるようにフロンティア精神で粉骨砕身、全力投球いたします。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をくださるようお願い申し上げます。

この一歩からのチャレンジ



新町・森田 正樹
自営業 52歳 図1

3年前に厚真町役場を早期退職し、和太鼓の世界に飛びこみ、「チャレンジ」事業を行ってまいりました。一歩からの事業の厳しさを痛烈に感じましたが、生まれ育った厚真での生活の中で、家族や町民の皆様の温かさに支えられ頑張ってきました。「やるしかない」「やらせてください」のスローガンで選挙戦に入り、全世帯にご挨拶に伺いました。皆様、一人一人との握手の中で、期待をひしひしと感じました。これからは「やります」「やりましょう」の合言葉を心に刻み、行政と町民が力を合やす協働のまちづくりを基本に、活気ある地域づくりのために努めてまいります。「このまちで暮らして良かったと思えるまちづくり」を目指します。町民の皆様のご要望を町政に反映させ、希望の持てるまちづくりに全力で取り組みます。また、「町のために誰かがやるだろう」から「自分たちは町のために何ができるだろう」と考えていただけるように、町民の皆様が、より良い町づくりに参画していただけるような機会を創っていきよう努力いたします。明日の未来を担う子どもたちが、家族や友人、そしてふるさとを誇れる大人に成長して欲しいと切に願う次第です。今できることからひとつずつ、故郷創生と一緒に考え実行していきたいと思えます。そして、厚真町を安心とやすらぎのある街にするためにチャレンジしてまいります。

まちづくり3つのキーワード



豊沢・下司 義之
自営業 54歳 図3

第1は町の基幹産業である「農業の振興」です。主要農畜産物はしっかりと、情報発信力と伸びしろのあるハスカップは町の知名度をアップするための特産品として集中的に、^カ花弁は町のイメージアップに欠くことができません。

第2は「I・Uターンの推進」です。地勢的に天候に恵まれている厚真町は、人が住むのに適した土地です。近隣に苫小牧市、千歳市などがあり、札幌市中心部へも車で90分の距離です。東京、大阪、名古屋といった日本の大都市へも新千歳空港へ車で30分という地の利があります。今後、町の人口を増やすことができるのは、移住定住（I・Uターン）の推進にあると思います。

第3は、「シルバーエイジが元気であること」です。町の高齢化率（65歳以上の人口の比率）は、昨年10月の時点で35・8％になりました。このことは問題ではなく、「経験豊かな人材がたくさん住んでいる」という町の強みです。高齢者福祉は一方的な施しの施策が中心ですが、今後は自主的な活動の場づくりが必要です。今後、地域が生き残る方法は、多様性の共生にあると思います。

町民の皆様の声を生かし 粘り強く実現する努力を



共和・木戸 嘉則
漁業 53歳 図3

町議会議員に当選させていただきまして、町民の皆様

に心からお礼申し上げます。日本が人口減少時代を迎え、4年連続で総人口が減り、高齢化・少子化も進んでいます。厚真町で若い人が希望を持って自らの人生設計を描き、人生を全うできるように、また、お年寄りが安心して老後を健やかに暮らせるようにする、そういう町をつくるのが地方創生だと思います。

医療や介護、未来の世代を育てる教育などの課題を克服するには、きめ細かく具体的に、知恵を積み上げていかなければなりません。そうした行政サービスに町民の皆様

の一人一人の声を生かし、粘り強く実現する努力をしていきたいと思

皆さんの声を大事にして 元気なまちづくりを



豊沢・伊藤 富志夫
無職 60歳 図1

この度、厚真町の町議会選挙で日本共産党の候補として当選させていただいた伊藤ふじおです。皆さんには本当に多くの支援と厚い期待をいただきありがとうございます。日本共産党はこの4年間、厚真町では、空白でありました。そういう意味では皆さんに本当にご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。今後は共産党議員らしく、まず皆さんの声をしっかり聞き、その声を議会に届けられるように頑張りたいと思います。

次に、町政そして私たちの生活は今、国政の影響を受けています。消費税が通ればその影響を受け、T P Pが通ればその影響は計り知れません。町政で何が出来

るのか限界はありますが、町政から声を上げて行くことが求められていると思います。その事も頑張っていきたいと思

次世代が安全・安心して住める町づくりに誠心誠意努力

- 町民と行政の声の架け橋として、先人たちが築き上げた自然と豊かな農地を守り、さらに磨きをかけ発展させていきます。
- 農林、漁業、商工業の施策の確立
・T P Pは絶対反対
・一次産業の充実
・厚幌ダム、道営基盤整備、厚真川の早期完成
・担い手農業者への支援の拡充
・産地形成と需要の促進
・安定した収量と品質が確保できる技術の推進
- 福祉の充実と環境整備
・高齢者、障害者が安心して住める町づくり
・安心して介護が受けられる環境づくり
- 教育と文化とスポーツの充実
・子どもたちの教育の充実と文化の伝承
・町民の体力の増進と施設の充実
- 町民の皆さんと話し合い、協働のなかで、次世代が安全、安心して住める町づくりに誠心誠意努力いたします。



軽舞・大捕 孝吉
農業 67歳 図②

議員の負託と責務の遂行



本郷・井上 次男
無職 70歳 図④

この度の、議会議員選挙において、町民の皆様は4期目に対して推挙いただいたことに感謝申し上げます。

この負託に対し、その一票の重さを感じ、今後の4年間を謙虚に責務実行してまいります。

町の将来に、明るい心の光を残していくために厚真町が日本全体の核として起動することが404km²の地の発展に繋がるものと考えており、町民の皆様が切望しております厚幌ダムがまもなく（30年共用開始）完成いたします。関連事業の完遂を踏まえながら、その先を見据えて国会議員・知事・道議会議員の力をいただき、町政の後方支援をやっていくことが、町民一人一人が幸せを感じ取れる道につながっていくものと考えております。

今ここに存在している私たちが常に望んでいることは「この美しい閑静な田舎の町に、生まれ住んでいて良かった」と思えることであり、「幸せな人生をありがとう」と言えることこそが、私が目指す幸福の追求であり、福祉の原点と考えております。これらを考え、議員として責務を果たしてまいります。

輝く厚真の未来のために

このたびの、厚真町議会議員選挙におきまして、多くの町民の皆様から温かいご支援を賜りましたことに、お礼を申し上げます。また、町政への参加の機会を与えられた重責に、身の引き締まる思いであります。

私は、若い子育て世代の皆様が安心と希望の持てる子育て支援策、障がい者や高齢者の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境整備、耕作面積全国一の厚真産ハスカップのブランドを確立し他産地との区別化、厚幌ダム周辺の景勝を生かした観光地化を図り、北部地区の活性化に全力で取り組み、町民の皆様が、住んでいて良かったと感じることができ、これからもずっと住み続けたいと思う町づくりを目標に活動してまいりますので、今後とも、一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



新町・高田 芳和
無職 60歳 図①

すべての人が心豊かに暮らせるまちに…



豊丘・吉岡 茂樹
農業 63歳 図②

この度の、厚真町議会議員選挙にあたり、数多くの町民の皆様からご支援、ご声援、励ましの温かい激励を賜り町政への参加の機会をいただき、心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

社会、経済情勢が激しく変化している今日ですが、厚真町の基幹産業であります1次産業（農業・林業・水産業）は、外庄（E P A、T P P等）・内庄（猫の目農業政策、輸入品増大による価格低迷）・高齢化・後継者不足の深刻化など、さまざまな問題に直面しています。

「人づくり」「食づくり」「システムづくり」を通じ、これらの課題の解決を図ります。厚真町全体として、「少子化」「高齢化」を少しでも改善するためにも、1次産業が元氣にならなければなりません。「新規就農支援や担い手の育成」「定住化促進」「地域におけるコミュニティ再生」に取り組むことが、厚真町の「商工業の活性化」にもつながることを考えております。

私は、わけ隔てのない地域的にもバランスのとれた「公平なまちづくり」、町民の皆様と共につくる「共働のまちづくり」、町民の皆様の声に耳を傾けその心に応える「対話のまちづくり」を基本に、町民の皆様への負託に応えるよう、誠心誠意努力してまいります。

今後とも、ご指導下さいますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

行動するまちづくり・安心して暮らせるまちを目指す

厚真町議会選挙において、3期の当選をさせていただきました。ご支援をいただきました皆様には、心から感謝とお礼を申し上げます。

厚真町は自然が豊か。この町で安心して伸び伸びと子育てができ、また、高齢者の方にとっても、安心と住みよいまちづくりを目指します。

陸・海・空のさまざまな恵まれた環境のもとで充実を図り、商工、観光、農林、雇用の確保、起業、水産業の活性を図っていき、安全・快適な生活環境のもとで、行動するまちづくり、安心して暮らせるまちを目指してまいります。



京町・三國 和江
無職 67歳 図③

町民目線で見た、町民主権の支え合いを大切にしたい温かい町政へ！

今回 町民の皆様の数多くの励まし、ご声援、ご支持を受け厚真町議会議員として3期目の町政の一端を担う責任をいただき、誠にありがとうございます。

私は当初から「町民目線で見た、町民主権の支え合いを大切にしたい温かい町政へ！」これだけを訴えてきました。「支え合い」「助け合い」「絆」これらはもともと言葉に表さなくても、ルールづくりをする必要もなく誰にでも心の中に常に持っていた日本人の大切な温かい文化のようなものでありました。私は町民と行政がまたその心思い起こし、共に新しい街づくりを目指し、厚真町が「支え合いを大切にする街」「町民みんなが温かい街」だと、町外の方々に伝わった時、厚真町の優先目標である移住・定住人口がもっと増え、きっといい町になります。『みんなが頑張っている姿が見える、若者が帰って来なくなる、子育て世代の住みやすい、女性が輝き安心して子どもを産み育てる環境の新たな街づくり』を目指して、与えられたこの4年間、良い町を創るため、一生懸命奮闘努力する覚悟です。本当にありがとうございました。



朝日・木本 清登
会社員 66歳 図③

統一地方選挙の結果

※（無）は無所属、（共）は日本共産党です。

4月26日執行 町議会議員選挙

■投票結果
有権者数 三、九二九人
投票者数 三、一四九人
棄権者数 七八〇人
投票率 八〇・一五％
（平成23年投票率 八二・八八％）

■候補者別得票数
◎ 渡部 孝樹（無） 五一六票
◎ 高田 芳和（無） 三九九票
◎ 吉岡 茂樹（無） 三六二票
◎ 伊藤 富志夫（共） 二七六票
◎ 大捕 孝吉（無） 二五六票
◎ 三國 和江（無） 二二九票
◎ 木戸 嘉則（無） 二二九票
◎ 下司 義之（無） 二二四票
◎ 森田 正樹（無） 一八五票
◎ 井上 次男（無） 一六二票
◎ 木本 清登（無） 一五九票
◎ 了安 正秋（無） 一一三票
（無効投票数 二九票）

4月12日執行 北海道知事選挙

■投票結果
有権者数 三、九五二人
投票者数 二、九一二人
棄権者数 一、〇四〇人
投票率 七三・六八％
（平成23年投票率 七三・五九％）

■候補者別得票数
◎ 高橋はるみ（無） 一、八五九票
◎ 佐藤のりゆき（無） 一、〇三八票
（無効投票数 一五票）